

平成17年第7回県教育委員会会議
教 育 長 報 告

1 報 告 事 項

平成17年度 地域教育力再生プランの計画について

2 事 業 の 説 明

(1) 趣 旨

地域の教育力の再生を図るため、地域の大人の協力を得て、地域に根ざした多様な体験活動や交流活動等の機会を提供することにより、社会全体で子どもを育む環境を充実させ、地域の教育力の再生を図る。

(2) 事業内容

① 地域子ども教室推進事業（平成16年度からの事業）

○ 趣 旨

心豊かな青少年を社会全体で育むために、地域の多くの大人の支援を得て、学校施設や公民館などを活用して、放課後や週末における様々な体験活動のできる居場所づくりを推進する。

○ 概 要

地域の大人の教育力を結集し、子どもたちの放課後や週末における様々な体験活動や地域住民との交流活動等を子ども教室で実施する。

② 地域ボランティア活動推進事業（平成17年度新規事業）

○ 趣 旨

住民一人一人が、ごく自然に、日常的にボランティア活動を行い、相互に支え合うような地域社会の実現を目指して、地域におけるボランティア活動を更に推進し、地域の教育力の再生を図る。

○ 概 要

地域子ども教室と同一の県運営委員会、市町村実行委員会を設置し、ボランティア活動推進のため、本事業のプログラムを企画・立案し、実施する。

○ 内 容

- ・ 実施市町村 … うるま市、読谷村（2市町）
- ・ ボランティア活動（地域ぐるみ、高校生の活動）
- ・ 事業成果の普及

③ 文化体験プログラム支援事業（文化課）…（平成16年度からの事業）

○ 趣 旨

子どもたちが日常の生活圏の中で、年間を通じて地域の特色ある様々な文化に触れ体験できるプログラムを作成し、実施することにより、子どもたちの豊かな人間性と多様な個性を育む。

○ 概 要

市町村が組織する実行委員会が子どもの文化体験を目的として、地域の特色ある文化を活かした芸術文化、伝統文化及び文化財等に触れることのできるプログラムを作成し実施する。

○ 実施市町村：久米島町、那覇市、糸満市、佐敷町

④ 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業（保健体育課）…（平成16年度からの事業）

○ 趣 旨

総合型地域スポーツクラブは、地域住民のスポーツ活動の場として生涯スポーツ社会の実現に寄与するとともに、子どもから大人まで誰もが参画できる地域住民の交流の場として、スポーツ活動を通じた家族のふれあいや世代間交流による青少年の健全育成、子どもたちの居場所づくり、地域教育力の再生などを図る。

○ 概 要

文部科学省から（財）日本体育協会へ委嘱され、スポーツクラブ、サークル、スポーツ少年団等の団体に対して、総合型地域スポーツクラブの創設に向けた支援事業である。全国で400クラブ、本県においては、6クラブが助成を受けることが内定している。

平成16年度の実施状況

1 地域子ども教室推進事業

実施カ所	参加人数	主な活動内容
県内38市町村(208カ所) 9 県立教育施設	子ども： 504,796人 指導員： 62,649人 ボランティア： 64,729人 計 632,174人	・伝統芸能活動 ・文化活動 ・スポーツ活動 ・演劇活動等

○平成16年度の総括

☆成果

- ・多くの子どもたちがこの教室に参加し、様々な体験活動等することによって人間としての成長を図ることができた。
- ・地域の大人と子どもたちの心の交流が行われ、信頼関係を築き、作ることができた。
- ・地域の多くの大人が子どもの育成に関わることで、「地域の子どもは地域で育てる」という気運が高まりつつある。

★課題と対策

- ・この事業に関して多くの県民に理解を図り、実施カ所数の拡大を図る。
- ・参加する大人(男性)の増加を図るため、企業等へ協力依頼をする。
- ・放課後・週末における学校施設の更なる解放を学校管理者に依頼する。

○平成17年度の予定(申請中)

実施カ所	参加目標人数	主な活動内容
県内36市町村(319カ所) 6 県立施設	約100 万人	・昨年度の活動 + より充実した内容

2 地域ボランティア活動推進事業(平成17年度新規事業)

3 文化体験プログラム支援事業

- (1) 実施主体 久米島町文化体験プログラム実行委員会
- (2) 参加人数 412人
- (3) 事業内容 久米島町の児童生徒を対象に、伝統行事体験、伝統芸能体験、伝統工芸体験、文化財体験のプログラムを実施
- (4) 事業成果
 - 伝統行事体験：各字の伝統行事を体験することにより意味を理解することができた。
 - 伝統芸能体験：三線、琉舞等を体験することにより伝統芸能の良さを再発見することができた。
 - 伝統工芸体験：国指定重要無形文化財「久米島紬」や「久米島焼き」を体験し素晴らしさと歴史を伝えることができた。
 - 文化財体験：久米島にある文化財を国と県指定に分けて調査研究を行うことによりその歴史や大切さを教えることができた。
- (5) 事業効果
 - 地域の子ども達と大人の繋がりが深くなり、地域の交流から子ども達の豊かな人間性を育むという気運が高まりつつある。
 - 学校において総合学習時間の中で体験内容が取り入れられている。
- (6) 課題
 - 体験教室の会場が遠方のため参加できない子どもたちがいる。
 - ほとんどの開催日が土日であるために部活動や習い事と重なり、参加できない子ども達がいる。
- (7) 対策
 - ・多くの子ども達が参加できるように会場の分散や開催日を工夫する。

(8) 次年度実施市町村

久米島町(継続実施)、那覇市、糸満市、佐敷町 計4市町村

総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

クラブ名	市町村	会員数	主な活動内容
スポーツクラブなきじん	今帰仁村	72名	水泳、アイススケート体験、親子バドミントン、セミナー開催等
レッツ知念スポーツ少年団	知念村	33名	スポーツ大会、ニュースポーツ教室ふれあいスポーツ等の開催
城辺総合スポーツクラブ	城辺町	985名	スポーツ大会、ニュースポーツ教室ふれあいスポーツ等の開催
下地総合スポーツクラブ	下地町	410名	スポーツ大会、スポーツ教室等の開催

成果

既存のスポーツクラブ、スポーツ少年団、町教育委員会、体育協会等の連携により、各種スポーツ大会、スポーツ教室等を開催し、地域住民の健康増進、交流、青少年の健全育成等を図ることができた。

課題

- (1) 県民への総合型地域スポーツクラブの啓発・普及活動
- (2) 総合型地域スポーツクラブの創設・育成の支援体制の構築
- (3) 創設・育成の推進の中心となるリーダーの育成

対策

各市町村に総合型地域スポーツクラブの趣旨や概要について、(財)沖縄県体育協会に配置されている「育成アドバイザー」と連携を図りながら啓発活動や指導者養成研修会等を開催し、創設・育成に努める。

- (1) 市町村生涯スポーツ担当者の研修会
- (2) 総合型地域スポーツクラブ育成委員会の設立
- (3) 市町村への巡回説明会・指導
- (4) 創設・育成の推進の中心となるリーダーの発掘・養成
- (5) クラブマネージャーの研修会
- (6) 創設されたクラブの後方支援
- (7) 広域スポーツセンターの設置に向けた調査・検討

○平成17年度の内定

クラブ名	区分	市町村	会員数	主な活動内容
スポーツクラブなきじん	継続	今帰仁村	72名	水泳、スポーツ大会等
レッツ知念スポーツ少年団	継続	知念村	33名	バレーボール、スポーツ大会等
城辺総合スポーツクラブ	継続	城辺町	985名	スポーツ大会等
下地総合スポーツクラブ	継続	下地町	410名	スポーツ大会等
スポーツクラブ赤蜂	新規	石垣市	1750名	野球、バレーボール等
銘苺小学校総合型地域スポーツクラブ	新規	那覇市	743名	フットサル、バレーボール等